

# 恐竜百科展

神栖にアマルガサウルスがやってきた

2019年

7月20日(土) ▶▶ 9月8日(日)



## アマルガサウルス

白亜紀前期の竜脚類で、アルゼンチン北部のパタゴニアで1984-1985年に発見された。頸椎骨の背面に分岐した長い棘突起をもつ。

(所蔵：群馬県立自然史博物館)



## コハクに閉じ込められた“たからもの”

白亜紀後期のミャンマー産コハク。花や昆虫類の脚、羽毛恐竜の尻尾の一部と考えられるものが閉じ込められている。

(所蔵：左/ミュージアムパーク茨城県自然博物館 右/個人蔵)



## ティラノサウルス 成体(左)と2歳と推定される幼体(右)

白亜紀後期に生息していた獣脚類で、主に北アメリカで発見されている。

(所蔵：左/神奈川県立生命の星・地球博物館 右/ミュージアムパーク茨城県自然博物館)



## パキケファロサウルス

白亜紀後期に生息していた堅頭竜類で、頭頂部が盛り上がっているのが特徴。

(所蔵：神奈川県立生命の星・地球博物館)

## パラサウロロフス

白亜紀後期に生息していた鳥脚類で、頭部のトサカが特徴。

(所蔵：ミュージアムパーク茨城県自然博物館)



## カスモサウルス

白亜紀後期に生息していた角竜類で、頭部に小さな3本の角と穴の空いた巨大なフリルがあり、くちばしがオウムのようにになっている。

(所蔵：いわき市石炭・化石館)



## イベント情報

7月2日(火)受付開始 お申込み・お問合せは神栖市歴史民俗資料館へ

イラスト原画提供：ツク之助

| イベント名                                               | 日 時                                          | 対 象     | 定員   | 参加費                      |
|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------|------|--------------------------|
| ● 講演会「恐竜研究の始まりから現在まで」<br>講師：ミュージアムパーク茨城県自然博物館 加藤太一氏 | 7/21(日) 13:30~15:00                          | どなたでも   | 40名  | 無料                       |
| ● マイレブリカ作り                                          | 7/28(日) 13:30~15:30                          | 小学生以上   | 30名  | 300円                     |
| ● “恐竜博2019”見学会(国立科学博物館)                             | 8/4(日) 9:00~17:00                            | 市内小学生以上 | 30名  | 大人 1600円<br>小・中・高校生 600円 |
| ● 30万年前の化石のクリーニング<br>~ワクワク化石発見体験~                   | 8/18(日) 午前の部:10:00~12:00<br>午後の部:13:30~15:30 | 小学生以上   | 各20名 | 200円                     |
| ● 折り紙でヴェロキラプトル                                      | 8/24(土) 13:30~15:30                          | どなたでも   |      | 無料                       |



問合せ 神栖市歴史民俗資料館

茨城県神栖市大野原 4-8-5 TEL.0299-90-1234